

第二看護学科 **令和7年度推薦入学試験問題** 専門科目(7の1)

答はすべて解答用紙に記入しなさい。

I 次の文章のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を付けなさい。

- 1 体液中に含まれる水分量は、標準的な成人男性では体重の約80%を占める。
- 2 心臓の刺激伝導系は、洞房結節→房室結節→ヒス束→左脚・右脚→プルキンエ線維の順に興奮が伝わる。
- 3 子宮と直腸との間の腹膜腔の深いくぼみをダグラス窩という。
- 4 ペプシンは、たんぱく質を分解する酵素である。
- 5 アトロピンは、瞳孔括約筋弛緩作用がある。
- 6 閉経後の女性の骨粗鬆症には、エストロゲンが関係している。
- 7 がん細胞が、左鎖骨上窩のリンパ節に転移したものをシュニッツラー転移という。
- 8 腎盂腎炎の主な病原菌は、大腸菌である。
- 9 サルモネラは、毒素型食中毒を引き起こす。
- 10 病院等におくべき看護師・准看護師の配置基準は、医療法に規定されている。
- 11 D・E・オレムは、セルフケアの観点から看護を説明した。
- 12 多職種連携とは、対象者の健康問題と目標を共有し、その目標に向けてそれぞれの支援を行うことである。
- 13 ストレスコーピングのうち、自分の考え方や見方を変えることによって問題に対処することを問題焦点型コーピングという。
- 14 腹囲測定は、仰臥位では膝を曲げた姿勢で行う。
- 15 巻軸包帯の巻き終わりは、環行帯とする。
- 16 湯たんぽは、身体の温めたい部位から10cm以上離して置く。
- 17 急性期にある患者の看護では、退院後のセルフケアに必要な指導が優先される。
- 18 熱傷の受傷面積の判定には、成人では9の法則を用いる。
- 19 上腕骨顆上骨折では、阻血性拘縮（フォルクマン拘縮）に注意する。
- 20 フレイルとは、加齢に伴い生理的予備機能が低下し、ストレスに対する脆弱性が亢進した状態をいう。
- 21 高齢者の皮膚は、スキンテアを起こしやすい。
- 22 学童期では、肥満度15%以上を肥満という。
- 23 褥婦の入浴は、産褥1日目から開始する。
- 24 フロイトは、人間の心には、リビドー・自我・超自我の3つの部分があるとした。
- 25 躁状態の治療には、炭酸リチウムが有効である。

Ⅱ 次の1～25の問いについて、適した答を1つ選びなさい。

1 呼吸器系の解剖生理について、正しいのはどれか。

- (1) 肺尖は鎖骨の下2～3cmに位置する。
- (2) 右肺は2葉からなる。
- (3) 右気管支は左気管支よりも長い。
- (4) 胸腔内は陰圧である。

2 前腕を伸展させるのはどれか。

- (1) 上腕二頭筋
- (2) 上腕三頭筋
- (3) 三角筋
- (4) 大胸筋

3 血液の成分と役割について、正しい組合せはどれか。

- (1) 赤血球 ————— 生体防御
- (2) 白血球 ————— 血液凝固
- (3) 血小板 ————— 酸素の運搬
- (4) 血漿 ————— 膠質浸透圧の維持

4 薬物の作用について、正しいのはどれか。

- (1) 小児は、成人より感受性が高い。
- (2) 複数の薬物の効果が合わさった以上に働くことを、拮抗作用という。
- (3) 口腔粘膜から吸収された薬物は、初回通過効果を受ける。
- (4) 腎機能低下があると、薬物の排泄が早くなる。

5 炎症の5徴候について、誤っているのはどれか。

- (1) 発赤
- (2) 発熱
- (3) 腫脹
- (4) 搔痒感

6 空気感染をおこす疾患はどれか。

- (1) インフルエンザ
- (2) 結核
- (3) 風疹
- (4) 百日咳

7 地域包括ケアシステムに含まれないのはどれか。

- (1) 精神保健
- (2) 介護
- (3) 住まい
- (4) 生活支援

8 国際生活機能分類 (ICF) について、生活機能の要素でないのはどれか。

- (1) 心身機能・身体構造
- (2) 障害の程度
- (3) 活動
- (4) 参加

9 フライの看護倫理のうち、守秘義務はどれか。

- (1) 善行の原則
- (2) 正義の原則
- (3) 無危害の原則
- (4) 忠誠の原則

10 看護問題ごとに経過を記録する方式はどれか。

- (1) フォーカスチャータリング
- (2) 経時記録
- (3) フローシート
- (4) POS

11 スタンダードプリコーションの対象でないのはどれか。

- (1) 血液
- (2) 尿
- (3) 汗
- (4) 損傷のある皮膚

12 排尿について、正しいのはどれか。

- (1) 健康な成人の1日の排尿回数は、5～6回である。
- (2) 健康な成人の1日の尿量は、2,500～3,000mlである。
- (3) 乏尿とは、尿生成がない、あるいは1日100ml以下の状態をいう。
- (4) 機能性尿失禁とは、尿意と同時に膀胱の収縮が起こり、不随意に排尿する状態をいう。

- 13 グリセリン浣腸について、正しいのはどれか。
- (1) 患者の体位は、右側臥位が適している。
  - (2) カテーテルの挿入の長さは、5 cm程度である。
  - (3) 浣腸液の温度は、43～45℃が適している。
  - (4) 浣腸液注入後は、我慢せず排便するよう説明する。
- 14 誤薬を予防するための6つのRight(6R)に含まれないのはどれか。
- (1) 正しい指示
  - (2) 正しい患者
  - (3) 正しい薬剤
  - (4) 正しい目的
- 15 輸液療法を受ける患者の看護について、誤っているのはどれか。
- (1) 高エネルギー輸液は、中心静脈から投与する。
  - (2) 輸液療法中は、刺入部位を保護してシャワー浴ができる。
  - (3) 利き手や関節部を避けて、針の刺入部位を選択する。
  - (4) 輸液が終了するまで、刺入部位の状態は観察しない。
- 16 生体検査はどれか。
- (1) 尿検査
  - (2) 血液検査
  - (3) 心電図検査
  - (4) 脳脊髄液検査
- 17 修正MRCスケールのグレード1について、正しいのはどれか。
- (1) 息切れがひどく家から出られない。
  - (2) 平坦な道を約100m歩くと息継ぎのために立ち止まる。
  - (3) 平坦な道を早足で歩くときに息切れがある。
  - (4) 激しい運動をしたときだけ息切れがある。
- 18 膀胱炎患者の生活指導について、誤っているのはどれか。
- (1) 水分摂取は控える。
  - (2) 排尿は我慢しない。
  - (3) 頻尿・排尿時痛・尿の性状を観察する。
  - (4) 陰部は清潔に保つ。

19 乳がんの手術を受けた患者の看護について、誤っているのはどれか。

- (1) リハビリテーションは、ドレーンが抜けてから開始する。
- (2) 手術創部を見てもらうときは、心理状態に配慮する。
- (3) 重たい荷物は、健側上肢で持つよう説明する。
- (4) 退院後の自己検診は、健側も行うよう説明する。

20 大腿骨頸部骨折の手術を受ける高齢者の看護について、誤っているのはどれか。

- (1) 転倒による再骨折に注意する。
- (2) 手術前から、健側肢のリハビリテーションを行う。
- (3) 大腿神経麻痺の予防に努める。
- (4) 人工骨頭置換術を受けた場合は、脱臼予防の姿勢を指導する。

21 高齢者の脱水時の看護について、誤っているのはどれか。

- (1) 眼球の落ち込みや皮膚の乾燥を観察する。
- (2) 食事以外に飲水できる機会を増やす。
- (3) 普段よりもたんぱく質を多く補給する。
- (4) 口腔内の乾燥を予防するため口腔ケアを行う。

22 認知症について、誤っているのはどれか。

- (1) 認知機能検査に、改定長谷川式簡易知能評価スケールを用いる。
- (2) 軽度認知障害（MCI）の50%の人が、認知症に移行するといわれている。
- (3) 慢性硬膜下血腫や正常圧水頭症による認知症様症状は、治療が可能である。
- (4) 認知症の進行を遅らせるためには、薬物療法が有効である。

23 小児の発達のうち、正しいのはどれか。

- (1) あやすと声を出して笑うのは、2か月頃である。
- (2) 支えなしで座るのは、5か月頃である。
- (3) 階段を登れるのは、2歳頃である。
- (4) スキップをするのは、3歳頃である。

24 月経について、誤っているのはどれか。

- (1) 初経後の数年間は、無排卵性月経であることが多い。
- (2) 原発性無月経は、満15歳を過ぎても初経が起こらない場合をいう。
- (3) 月経前症候群は、月経前3～10日の間続く精神的・身体的症状である。
- (4) 月経困難症を引き起こす疾患として、子宮筋腫や子宮内膜症がある。

25 アルコール関連障害について、誤っているのはどれか。

- (1) 家族との関係は、共依存であることが多い。
- (2) 離脱時の看護では、身体管理を行う。
- (3) 失見当識は、アルコール依存と関係しない。
- (4) 断酒会などの自助グループを勧める。